

# ***RIDEE***

## **User's Handbook**

(操作篇)

**Aiguo He**  
*The University of AIZU*

**Ver. 1.0**

**2006.04**

変更履歴

- ・ 2002/03/27 GUI 機能追加などに伴う内容全面変更
- ・ 2003/04/09 GUI minor change に伴う内容変更  
操作篇として独立
- ・ 2004/05/31 Slide 作成の際のサイズ指定方法を追加
- ・ 2006/03/24 version up に伴う内容変更

## はじめに

本資料は RIDEE の使用者に最小限の情報を提供する目的で作成されています。今後改訂と内容の追加を予告することなく行うことがあります。

本資料の所有権は、著者にあります。

著者

## 目次

1	RIDEE の概要	4
1.1	RIDEE とは	4
1.2	RIDEE の一般的な使用方法	5
1.3	RIDEE 起動	5
1.4	RIDEE の基本画面	5
1.4.1	司会者画面 (受講者は使用しません)	5
1.4.2	参加者画面	6
2	講義・ゼミ進捗制御機能 (共通機能)	7
2.1	概要	7
2.2	RIDEE への接続	7
2.3	発表の開始	7
2.4	発表権の取得競合	7
2.5	発表の終了	8
2.6	質問・討論の開始	8
2.7	質問権取得の競合	8
2.8	質問・討論の終了	8
3	講義・ゼミ進捗制御機能 (司会者専用機能)	9
3.1	概要	9
3.2	講義・ゼミの開始と終了	9
3.3	発表者の切替	9
3.4	質問と討論の制御	9
4	資料 (スライド) の操作	10
4.1	Slide の作成	10
4.2	作成した Slide を読み込む	10
4.3	他の参加者資料の利用	11
4.4	資料の操作	11
4.5	資料の非同期閲覧	12
4.6	Slide 操作連動の確認	12
4.7	理解状況の送信	12

## 1 RIDEE の概要

### 1.1 RIDEE とは

RIDEE は、JGN のような高速ネットワーク上でのマルチサイト、リアルタイムの対話型遠隔講義と遠隔ゼミの支援を行うシステムである。下図は RIDEE のイメージである。



遠隔講義やゼミの参加する者は、各自のコンピュータに RIDEE のソフトウェアシステムをインストールした上で、次のことを行うことができる。

- ・ 静止画 (Slide . JPEG ファイル) のセットで構成される資料を利用して遠隔発表 (講義) を行う。
- ・ 上記資料を複数の参加者の間で共有し、資料内容に関する質疑応答や討論を行う。
- ・ 講義中の討論やゼミに必要な Floor Control (発表者や質疑応答時の質問者の自動決定など) を参加者が各自のコンピュータを通して直接に行うことにより、司会者 (教師) の負担を軽減する。

利用者は次のような立場で RIDEE の機能を利用する。

- ・ **司会者** 講義・ゼミ全体管理と制御を行う人。
- ・ **発表者** 発表 (または講義) を行う人。講師も発表者である。
- ・ **質問者** 発表者と討論を行う人。
- ・ **参加者** RIDEE の利用者は全員「参加者」であるが、ここでは特に上記立場以外の人を指す。

一般的には、遠隔講義では講師が司会者と発表者双方の役割を兼務する。

RIDEE の各コンピュータ間の通信は、**Global Server** という専用コンピュータで管理される。参加者は自分のコンピュータを Global Server に接続 (Login) しておく必要がある。

## 1.2 RIDEE の一般的な使用方法

RIDEE は講義やゼミの全過程を支援することを目標としている。講義やゼミでは、以下のよう  
に RIDEE を利用する。

1. 各参加者が自分の PC を R I D E E に Login する。全員に公開したい資料(スライド)  
があれば、それを自分の PC に読み込む。
2. 司会者が PC で講義・ゼミの開始を宣言する(この時は司会者が発表者である)。
3. 司会者以外に発表希望者(または講師)が自分の PC を通じて司会者から発表権を譲  
ってもらう。
4. 発表者 PC から、資料が他の PC に自動配布される。
5. 発表者が発表を行う。  
発表の間、他の人は自分の PC で、発表者の資料の閲覧、メモ書き込みなどができる。  
もちろん自分の資料の操作もできる。
6. 発表司会者が討論開始と宣言し、質問者を受け入れる
7. 質問希望者が自分の PC を通じて司会者から質問権を取得し、発表者へ質問または発  
表者と討論を行う。  
この場合、質問者と発表者は同時に発表者の資料を操作できる。  
質問者が自分の資料を質問や討論に利用すると、この資料は自動的に配布される。
8. 一つの質問(討論)が終了した時点で、上記のステップ 7.から別の質問者が質問可能  
になる。
9. 一つの発表が完了した場合、上記のステップ 3.から別の発表を開始可能である。
10. 全ての発表が完了した時点で、司会者が講義・ゼミの終了を宣言し、各参加者が自分  
の PC を RIDEE から Logout する。

以降の各章では、上記操作で利用される画面を説明する。

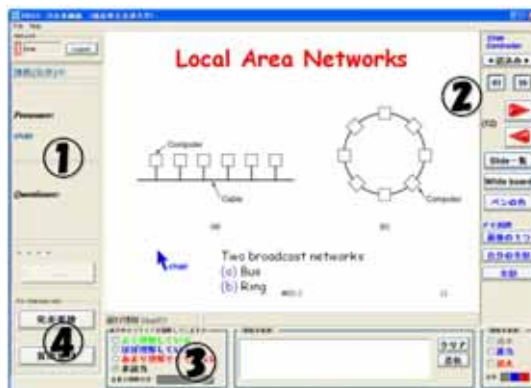
## 1.3 RIDEE 起動

セットアップ篇で述べた rideeScreen.bat または rideeStudent.bat を実行すると RIDEE が起  
動される。

## 1.4 RIDEE の基本画面

### 1.4.1 司会者画面(受講者は使用しません)

司会者コンピュータ上の画面は下図に示す。



画面はメニューのほか，以下の部分から構成される．

講義・ゼミの進捗制御機能

発表資料（教材）の提示と共有機能

受講者が自分の理解状況を発表者に送る機能

司会者専用制御機能

#### 1.4.2 参加者画面

参加者コンピュータ上の画面は，司会者画面から の部分を除いたものである．

## 2 講義・ゼミ進捗制御機能（共通機能）

### 2.1 概要

ネットワークの状態表示と Login/Logout 操作

仮想教室の状態を表示する．

**Offline**：PC がまだ RIDEE に接続していない．

**司会者待ち**：司会者 PC が未接続で、講義・ゼミが開始できない．

**講義(発表)者待ち**：発表者が存在しない．この時は、誰でも自分の PC で発表を開始することができる．

**講義（発表）中**：発表中状態．教師も含めて、誰かが発表（講義）を行っている．

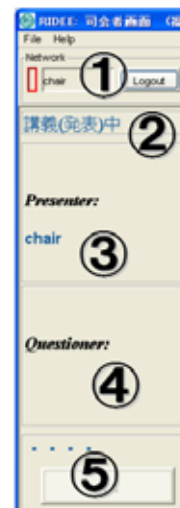
この時、司会者の制御で質疑応答操作可能になる。

**質疑応答中**：質問者が現れ、発表者と討論中

現在の発表者（教師）の名前

質問者の名前

発表権および質問権を取得するボタン



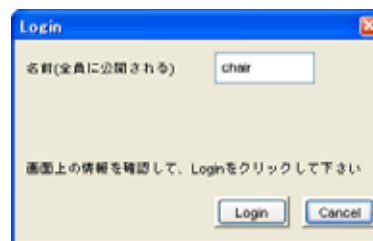
### 2.2 RIDEE への接続

前記 のボタンをクリックし、右のような画面が表示される。

自分の名前を入力し、「Login」をクリック

端末が RIDEE の Global Server に接続される．

- \* 名前は、なるべく短い日本語を使ってください．例えば「中村」など（Login 後の名前変更はできないため、正確に入力してください）．



接続成功した場合、前記 の状態が変わる．

接続が失敗した場合は、上記画面にメッセージが出力される。

### 2.3 発表の開始

状態が「講義(発表)者待ち」になっている場合、前記のボタン が使用可能になる．このボタンを押すと、発表権を取得できる．

### 2.4 発表権の取得競合

を押した直後に、 に別人の名前が表示された場合がある．これは複数の発表要求が同時に

発生し、別の参加者に発表権が与えられたためである。

## 2.5 発表の終了

発表終了操作は、司会者により行われ、それにより状態が「講義(発表)者待ち」に戻る。

## 2.6 質問・討論の開始

状態が「講義(発表)中」の場合、ボタン を押すと、発表者と資料を共有して討論をすることができる。

## 2.7 質問権取得の競合

発表要求と同様、ボタン を押した直後に質問者名が別人になった場合は、その人に質問権が与えられ、自分の要求が却下されたことを意味する。

## 2.8 質問・討論の終了

質問や討論を終了（資料の共有操作を中止）したい場合は、上記ボタン を再度押す。

また、司会者の操作で終了することもある。



### 3 講義・ゼミ進捗制御機能（司会者専用機能）

#### 3.1 概要

専用機能で、講義・ゼミの開始と終了宣言、発表者の切替、質問と討論の制御ができる

#### 3.2 講義・ゼミの開始と終了

司会者が Login した直後、司会者が発表者の「講義(発表)中」状態となり、資料による introduction（例えば講義・ゼミ発表者の紹介、今日の講義・ゼミの概要紹介など）を行うことができる。

講師が司会者を兼務している場合、この状態から発表（講義）を開始することができる。

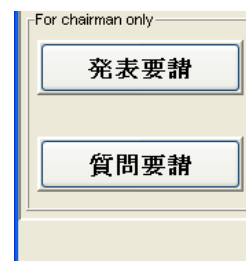
司会者が Logout した瞬間が「終了」となる。

#### 3.3 発表者の切替

発表権を現在の発表者から他の参加者に譲るためには、ボタン「発表要請」を押す。これにより、「講義(発表)者待ち」状態になり、他の参加者からの発表要求を待つ。

司会者はこの操作を行いながら、「XXさん、「発表開始」ボタンを押して発表を開始してください」と一言添えると効果的である。前記

に発表者の名前が表示されたときに、「XXさんどうぞ」など一言添えると、発表者への合図となる。



#### 3.4 質問と討論の制御

「講義(発表)中」の時に質問要求を許可するには、ボタン「質問要請」を押下する。

司会者はこの操作を行いながら、「これまでの発表（内容）について質問などがある方、「質問開始」ボタンを押してから質問をしてください」など一言添えると効果的である。また に質問者の名前が表示されたときに、「XXさんどうぞ」など一言添えると、質問者への合図が取れる。

質問発言許可した後、ボタン「質問要請」の表示が「質問終了」に変わる。現在の質問発言を強制終了し、その後の質問発言要求拒否するには、そのボタンを再度押す。

司会者はこの操作を行いながら、一言添えると効果的である。

## 4 資料 (スライド) の操作

### 4.1 Slide の作成

Slide は, Microsoft 社の PowerPoint で作成された\*.ppt ファイルから作成する.

PowerPoint で編集集中のファイルに対して, ファイル保存機能で, \*.ppt ファイルを JPEG ファイルに保存する.

プレゼンテーションの時は, Slide が PowerPoint ファイル内の Slide 順番で表示される.

上記方法で作成した Slide ファイル名は, 「スライド 1.jpg,.....」のようになっているが, そのファイル名を変更しないで下さい.

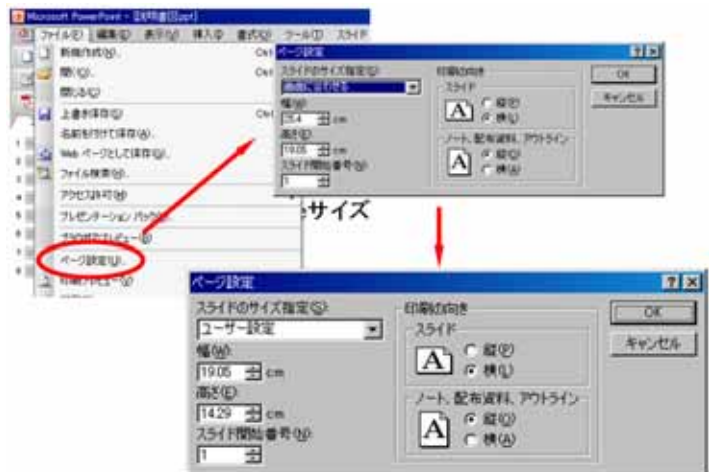
\* PowerPoint で作成したアニメ効果や動画は使用できない.

\* 当面, Slide のサイズは, 720\*540 ドットである. 以下のようにスライドのサイズを設定することができる.

(1) メニュー「ファイル」から「ページ設定 (U)」を選択する (ページ設定画面が表示される).

(2) ページ設定画面で, 次のように設定し, OK してください.

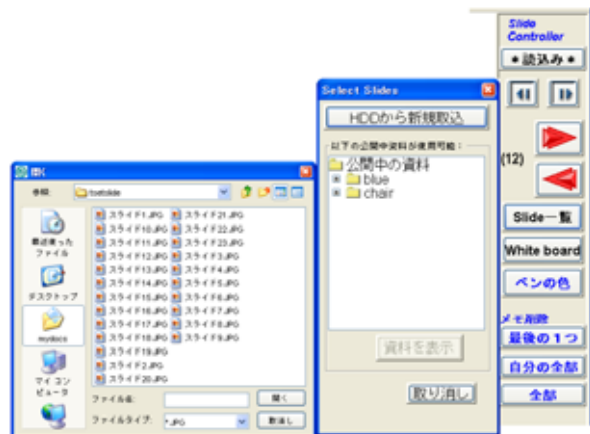
- スライドサイズ指定 (S) = ユーザ設定
- 幅 (W) = 19.05
- 高さ(H) = 14.29
- 印刷の向き = 初期設定のまま



\* 上記方法以外で作成した Slide は, サイズとファイル名を上記に合わせる必要がある.

### 4.2 作成した Slide を読み込む

ボタン「読み込み」を選び, 「Select Slides」画面を表示させ, その画面の「HDD から新規取込」を押下すると, ファイルを選択する画面が表示される (右).

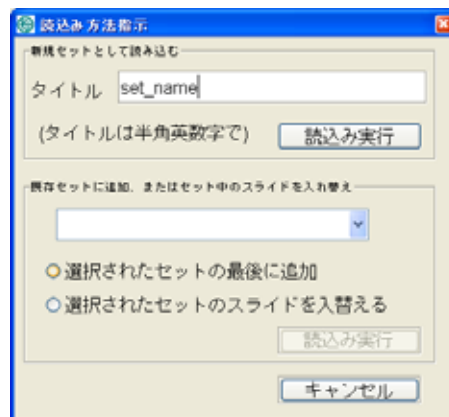


この画面からスライドが置かれているフォルダを選ぶと、そのフォルダ配下にある JPEG ファイルが全部、ファイルリスト中に表示される。

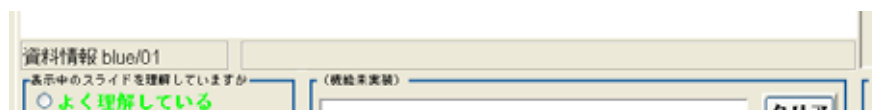
ファイルリストから必要なファイルを選び、「開く」を押下すると、右の画面が表示される。ここで取込んだ資料の扱い方を指示する。

最初の資料取込は、必ず「新規セットとして読み込む」である。ここでセットのタイトルを付ける。

既に取込まれた資料が存在する場合、今回の資料を「既存セットに追加または入れ替え」することができる。この場合、既存セットの指定などをしてください。



「読み込み実行」で処理が行われ、資料表示画面の下側に資料の情報（資料の所有者・資料セット名）と、取込進捗状況が表示される（下図）。



#### 4.3 他の参加者資料の利用

自分の PC からは他の参加者が公開している資料を利用できる。

「Select Slides」画面には右のように、公開されている資料の所有者名と資料セット名が表示されている。

ここで目的の資料を選んで、「資料表示」を押下すると、その資料を自分の資料のように利用することができる。



#### 4.4 資料の操作

画面に表示中の資料にメモを書き込む。

線メモ：マウスの左ボタンを押しながら資料画面の上を移動する

文字メモ：左ボタンをダブルクリックして文字入力画面を表示させる。

また、次のように操作することができる。

- ・ 最初または最後の Slide へ移動
- ・ 次または前の Slide へ移動（スライドの番号が表示される）
- ・ 「Slide 一覧」で、任意の Slide を選び、それへ移動



ホワイトボードの表示または終了

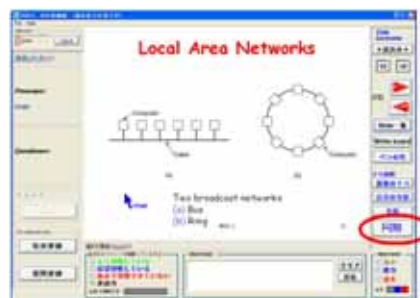
メモの描画色（擬似カーソルの色）選定

表示中の Slide 内のメモ削除（自分が書いた最後のメモの削除，自分が書いた全てのメモの削除，または全員が書いたメモの削除）

#### 4.5 資料の非同期閲覧

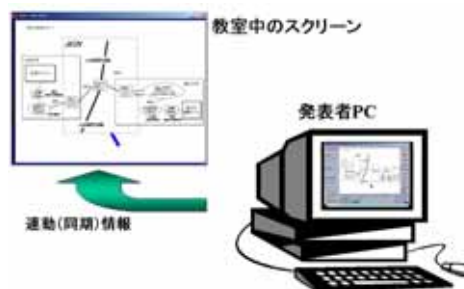
発表者や質問者の操作は常に相手側や教室内のスクリーン表示と連動しているが、それ以外の参加者は各自資料を独立に操作できる。この場合、自分の PC 上の資料表示は自分の操作のみに従う。

表示を発表者や質問者の操作に同期させるには、画面右下の「同期」ボタンを押下してください。



#### 4.6 Slide 操作連動の確認

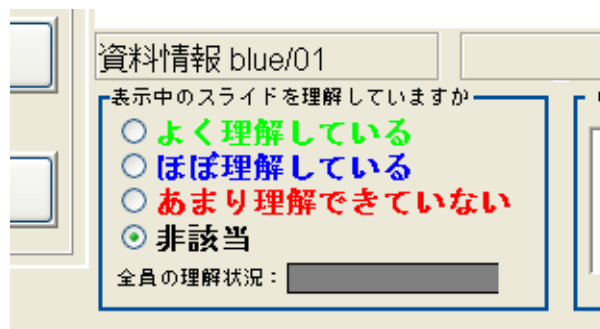
発表中や質問中の方が相手側と Slide を共有している間は、自分の操作が常に相手側と連動しているかどうかを心配するかもしれないが、この心配は自分の教室内のスクリーンを利用して解消できる。相手側での表示はこのスクリーンとほぼ同じタイミングで変化する。



#### 4.7 理解状況の送信

発表者に対して自分の理解状況を、右の画面で送信することができる。

ボタンを選んだ瞬間に発表者に送信される。また全員の理解状況はグラフで表示。



（最終ページ）